

今日のキーワード オバマの「一般教書演説」は好評価(米国)

大統領による「一般教書演説」は、連邦議会に向け、経済、外交など幅広い政策課題や方針について説明する演説です。日本における首相の施政方針演説にあたり例年1月20日前後に行われます。上下両院で共和党優勢のなかでオバマ大統領の任期はあと約2年です。今後の政策運営が2016年の大統領選挙の行方にも影響するとの見方もあり、今回の演説に注目が集まっています。

ポイント1 富裕層や銀行への課税強化を提案 格差是正への強い意志を表明

- オバマ大統領は20日、上下両院の合同会議で「一般教書演説」を行いました。冒頭で、2000年代の15年間におけるイラク、アフガニスタンとの戦争、世界的に波及した厳しい景気後退に言及したうえで、「そのページをめくろう」と述べ、新たな展開への期待を訴えました。
- 経済については、「一握りのひとが極端に豊かになる経済を容認するのか、それとも努力をしたすべてにチャンスがある経済を目指すのか」と問いかけ、所得格差の是正に向けた強い意志を示しました。具体的には、富裕層向けの資産課税強化や銀行向けの新税などから得る税収を、中間層や貧困層に再配分する内容です。これにより、所得、教育、社会保障への機会の平等を確保する方針です。

ポイント2 TPP合意を目指す 外交では、武力行使容認決議を要請

- 通商政策では、環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)の合意に向けた意欲を改めて示しました。「我々が通商のルールを作るべきだ」と述べ、公正な競争環境のもとで、米国製品の輸出促進を図る方針です。TPPの進展には、大統領に付される貿易促進権限(TPA)を議会が認めるかがカギと見られ、今後はこれを巡る議会との交渉が焦点となります。
- 外交・軍事面では、米国のリーダーシップがテロ組織の前進を止めていると成果をアピールしました。ただし、アフガニスタンでの戦闘終結という実績が評価される中で、再度地上軍の派遣などの事態となれば支持率に影響しかねず、引き続き難しい判断を迫られそうです。



今後の展開 政策を前進させるには、議会・共和党への譲歩が不可欠

- 中間層など支持基盤へ訴え、視聴者は好評価
現地メディアなどによると、今回の演説への視聴者の評価は概ね好意的だったようです。これまでの景気回復とテロへの厳しい姿勢が好評価の背景と見られます。
- 2016年の大統領選挙に向け駆け引き激化も
残りの任期でどれだけ大統領・民主党の存在感を示せるかが次の大統領選挙に向けた課題です。富裕層への課税強化などには共和党の反発が予想され、政策前進には議会・共和党への譲歩などによる超党派の合意形成が不可欠と見られます。

ここも
チェック! 2015年01月21日 IMFの世界経済見通し改定(2015年1月)
2015年01月13日 米国の雇用統計(2014年12月)

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。